

トピック 外来生物をロールプレイで考えてみよう

特定外来生物のアライグマに関するロールプレイ（即興役割劇）を行い、生き物にはそれぞれを取り巻くさまざまな環境があること、生態系や人の身体・生命、農産物への被害等を防止するため、ペットや野生生物について配慮すべきことなどを学びます。

準備物

ロールカード（ワークシートを役割ごとに切り取って使用）、ネームプレート（役割名を書いた名札を用意）

進め方

（１）場面設定

野生化したアライグマが畑や民家を荒らしているため、関係する人たちが集って『アライグマの被害対策に関する会議』を開催します。

（２）役割分担

アライグマ自身と議長を指導者が担当し、農家の人、近所の子供も、アライグマの飼育者、近所のおとな、役所の人、以上の役割を５グループで１つずつ分担します。

（３）班別相談

グループごとに、担当する役割のカードを読み、その役割になりきってアライグマ被害対策に関する意見をごく短時間で考えます。

（４）進行１

グループで代表１名を決め、ネームプレートを付けて出てきます。指導者がアライグマと議長役を兼ね、代表者にそれぞれの立場での意見を聞いていきます。

（５）進行２

一通り順番が回ったら、自由に意見を出し合います。最後に、見ていた子どもたちに意見を聞いてどう思ったか、考えがどう変わったかなどを聞きます。

（６）進行３

様子を見て、指導者が外来生物への心得について簡潔にまとめます。

留意点

（１）近年、野生化した外来生物によって生態系や人の身体・生命、農林水産業などへの影響がみられます。平成17年6月からいわゆる「外来生物法」により、特定外来生物の飼育・栽培・保管・運搬・販売・譲渡・輸入・野外に放つことへの規制が始まっています。指定されている外来生物には、ブラック（オオクチ）バス、ブルーギルの他、カミツキガメ、タイワンザル、タイワンリス、オオヒキガエル、ジャワマングース、セアカゴケグモ、キョクトウサソリ、ヌートリア、グリーン・ブラウンアノール、ボタンウキクサ、アレチウリ、カダヤシ蚊絶やしなどがあります。

（２）ミドリ（ミシシippアカミミ）ガメ、（オオ）ブタクサ、（グランディス）オオクワガタ等は現時点では指定されていませんが、その扱いや野生化などが問題となる場合があります。

（３）生き物の特性を知り、安易に飼わないこと、飼うとき（特定種は許可等が必要）は最後までしっかり責任を持ち管理すること、自然に放つことはその生き物だけでな

く周りの生き物にとっても迷惑であることを理解しておくことが重要です。

- (4) 在来種のタヌキやサルなども身近で多く見られるようになっていきます。在来の野生生物の生活環境が変化している現状を知り、人間活動が自然環境に与える影響がいかに大きいか、この機会に考えます。また、併せて、いのちの大切さをしっかりと認識します。
- (5) アライグマは、驚かせたり追いつめたりしなければ攻撃してきませんが、えさをやったり、頭をなでようと近づいたりすると危険です。絶対にしないよう注意します。被害等があった場合は、各市町村等に連絡します。

【ワークシート】 ロールカード - アライグマ対さく会ぎ -

アライグマ：からだは50cmぐらいで、尾の長さが30cm、はい色がかかった赤かっ色、尾に数本の黒いしま模様があります。ふつう、水べの森林にすみ、ネズミや水中の小動物、たまご、くだものなどを食りようとします。1～2年でおとなになり、春に3、4頭の子どもをうみます。

<p>アライグマ(ぎ長をかねて、必ず先生がたん当します。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、ネコのなかまです。北アメリカからやってきました。 ・ぼくは飼い主がしばらくいない間に、近くの山へさん歩にやってきました。 ・ぼくには動物園からやってきた仲間もいます。夜行せいで何でも食べます。 	<p>農家の人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アライグマによる農作物のひ害でこまっています。 ・この間も畑があらされ、野さいにあなをあけて食べられてしまいました。 ・夜行せいだし、なかなかつかまえません。わなをかけてほしいですね。
<p>近所の子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝早くアライグマが、にわの池の魚をあらって食べているのを見ました。びっくりして、わっとさけぶと食べていた魚を持ってにげていきました。 ・こんど出会ったら、えさをあげようかな、どうしようかなと考えています。 	<p>アライグマを飼っている人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔から家で飼っています。 ・かわいくて愛きょうがあり、家族をなごませてくれます。 ・今では、家族の一員として、なくてはならないそん在です。
<p>近所のおとな(または自然保護活動家)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つかまえて動物園などで、飼ってもらえないのでしょうか。 ・アライグマを飼っていた人は、せきにんをもってほしいと思います。 ・野生化すると、もとからすんでいる生き物にえいきょうが出ると思います。 	<p>役所の人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物や建物へのひ害だけでなく、人へもひ害が出ることが考えられます。 ・みなさんからアライグマの情報を集めて、ひ害が出ないようにします。 ・アライグマに限らず、ペットを飼う時のマナーを守ってもらいます。